



©朝日新聞社 2005年
発行所 名古屋市中区栄1丁目
3番3号 〒460-8488
朝日新聞名古屋本社
電話 052-231-8131

世界の笑顔 写し集め

水谷 孝次さん アートディレクター



愛・地球広場の大きな画面に映し出される笑顔に負けない笑顔の水谷孝次さん＝ともし林敏行撮影

世界の子供の笑顔が大画面に映し出され、自分の国言葉で、いま幸せなことや夢を語る音声が流れる。長久手会場の「愛・地球広場」＝地図中の★、世界の街角で写した

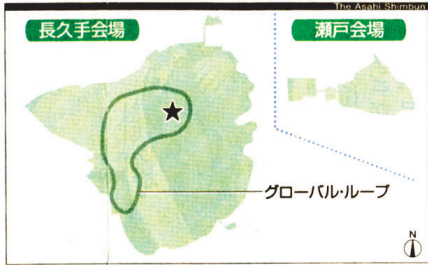
子供たちの笑顔を集めるこの広場のシンボル企画「メリーエクスポ」だ。企画を担当したアートディレクター水谷孝次さんがキャスター付きの大きなバッグを引っぱって現れた。「リミット、クレムリン、これを持って世界中を回りました」。水谷さんは木陰に腰を下ろして語り始めた。「笑顔って、マイナス部分

があればあるほど美しいんです」。戦争で親を失ったケニアの孤児たちの笑顔が強く印象に残った。聞き手が涙ぐむ身の上を話しながらも笑っていた。「敵い所で生きている子は「いま」の幸せをかみしめ、輝いていると思いませんか？」

笑顔を抑えきれないのは99年の米旅行。バスに乗り合わせた少女たちの自然な笑顔にひかれた。9・11のテロ後のニューヨーク、戦乱のアフリカ……。メリーエクスポ、幸せな笑顔を集めて6大陸の23カ国以上を巡り、約2万人の笑顔をかまらに取めた。日本はどうか？「豊かでモノがあって、親がいて、満足している子供たちの笑顔はあまり輝きが強くないですね」

話がひと区切りすると、水谷さんはバッグを引っ張って笑顔を探しに。万博会場でも撮影を続けている。「万博に来ているという解放感からか、街なかより笑顔が楽しそうです」。会場内の万博会場で不要になった段ボールを表面にした笑顔の写真集を作ることも計画中だ。「教育があれば、困難な状況にいる子供に未来が開ける。売ったお金も一つでも学校を造りたい」

笑顔を集めた子供たちへの万博からのお返しと考えている。(黒沢 大陸)



みずたに・こうじさん 54歳。名古屋市生まれ。1983年に事務所を設立。企業のポスターなどを手がける。ニューヨークADC国際展金賞、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ展金賞などを受賞している。メモ 「メリーエクスポ」では来場者がカメラ付き携帯電話で撮った「笑顔のメッセージ」も大画面で上映。水谷さんが撮った笑顔を集めたポスターが愛・地球広場のマイペーパーステーションでもらえる。今月19日の名古屋市内での「メリーエクスポ・クリーンアップ・プロジェクト」は名城公園などで開催。問い合わせは運営事務局(052・957・7444)へ。



話しかけながら笑顔を撮影する水谷さん